

ハブOSの仕様変更されました

ハブOSの大幅バージョンアップにより、SPIKE3ではハブの起動とBluetooth接続が高速化されました。ただし、一度SPIKE3でハブOSを更新してしまうと、以後、SPIKEレガシーのハブOSには戻せません(ハブOSの更新を促されますが、失敗します)。つまり、SPIKE3を使い始めた場合、SPIKEレガシーを使用できなくなります。



SPIKEレガシーのプロジェクトファイルを読み込めません

SPIKE3では、SPIKEレガシーで作成したプロジェクトファイル(プログラムを保存したファイル)を読み込めません。また、SPIKE3で作成したプロジェクトファイルをSPIKEレガシーで読み込むこともできません。

ストリーミングモードを使用できません

標準編vol.1で紹介している「ストリーミングモード」を使用できません。ただし、教材中ではダウンロードモードを推奨しているため、学習には影響ありません。

Pythonでのプログラミングができません

SPIKEレガシーでは、新たにプログラムを作成する際、Pythonプロジェクトが選択できました。現時点では、SPIKE3でPythonでプログラムを作成することはできません。ただし、教材中でPythonでのプログラミングは扱っていませんので、学習に影響はありません。なお、今後のバージョンアップで、SPIKE3もPythonプログラミングに対応する予定です。

現時点で確認できている変更点は以上です。

最新情報は、受講者専用サイト「Dr.Ido研究室」の「保護者の方へ」ページにてお知らせします。

また、学習に関するお問い合わせは、以下のお問い合わせフォームからお願いします。

学習に関するご相談

お問い合わせフォーム https://service.zkai.co.jp/enquete_sp/?s=programming_inquiry

お問い合わせへの回答には、3営業日程度頂戴いたします。



レゴ®エデュケーション SPIKE™ アプリ v.3.2.1 v.2.0.x からの変更点

2023年1月現在で確認できた、SPIKE™アプリv.2.0.8/2.0.9(以下「SPIKEレガシー」)からv.3.2.1(以下「SPIKE3」)への変更点を紹介します。Z会プログラミング講座 with LEGO® Educationの教材はSPIKEレガシーをベースに作成しているため、可能な限り、SPIKEレガシーをご使用ください。また、SPIKE3は主にSPIKEプライムに関する機能のアップデートです。SPIKEベーシックの機能には大きな変更はございません。

一部のプログラミングブロックが異なります

ご受講に影響しない変更もありますが、多くの回で使用しているブロックの変更もあります。SPIKE3をご使用される場合、該当部分を読み替えてください。

「ライト」ブロックの仕様変更になりました

SPIKEレガシー

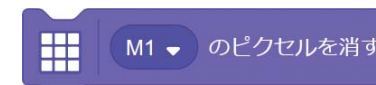


SPIKE3



SPIKEレガシーでは「M1に」という選択肢が現れますが、SPIKE3にはありません。また、プログラミングブロックのアイコン(上記例の一番左のアイコン)も変更になっています。これ以外のライトブロックにも同様の変更がありますので、ご注意ください。

SPIKEレガシー



SPIKE3



ライトマトリックスのすべてのピクセルをオフにするブロックは、SPIKEレガシーでは「M1のピクセルを消す」でしたが、SPIKE3では「全ピクセルをオフにする」となりました。

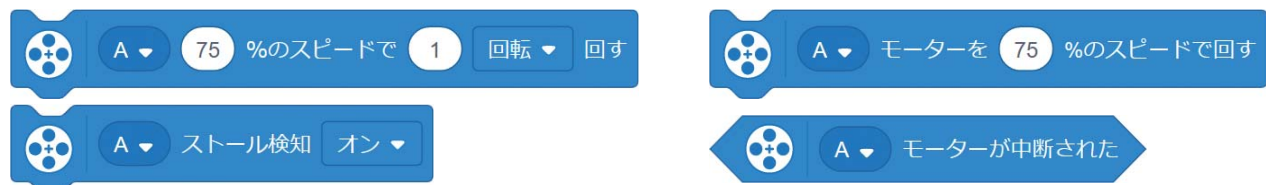
「モーター拡張」「移動拡張」ブロックが統合されました



拡張機能にある「モーター拡張」「移動拡張」のブロックが統合されました。ワークブック中で使用しているものに変更はありません。詳細は次ページで紹介いたします。

■ 以下のブロックが削除されました

モーター拡張



移動拡張



■ 以下のブロックの仕様が変更されました

SPIKEレガシー



SPIKE3



「加速度」の選択肢が整理されました。

「変数」などの表示が変更になりました

SPIKEレガシーでは、変数やリスト、一部のセンサーの値などを画面右に表示することができましたが、SPIKE3では表示できなくなりました。それに伴い、表示する・しないのチェックボックスが表示されなくなりました。本機能はvol.4の保護者ガイドや、vol.12でリストの中身を確認する際などに使用しています。



このチェックボックスが表示されなくなりました。

≡ 変数

変数

0

画面右に表示されていた変数リストも表示されなくなりました。変数やリストの値を一覧から変更することもできません。

変数やリストの中身を確認するためには、拡張機能の「ディスプレイ」から「表示」ブロックをご使用ください。

ハブの「向き」が変更されました。

ジャイロセンサーでハブがどちらを向いているのか検知する際の、「向き」が変更されています。ワークブック中でも使用しているブロックですのでご注意ください。

影響のあるブロック



「前」「後」「上」「下」「右」「左」の表記に変更はありません。

SPIKEレガシーとSPIKE3とで、それぞれの「向き」の表す状態が異なります。

向き	SPIKEレガシーが表す状態	SPIKE3が表す状態
前		
後		
上		
下		
右		
左		